

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月13日

計画の名称	熱海市における安心で快適な住まいと住環境の向上（地域住宅計画）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	熱海市,静岡県											
計画の目標	『少子高齢社会への対応を推進するとともに豊かで安心できる住まい・まちづくりを実現する。』											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	297	A	294	B	0	C	0	D	3	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	市営住宅の浴室改修（ユニット化）により、防水性が向上し、建物の長寿命化を図ることができる。 市営住宅の浴室改修（ユニットバス化）による防水性向上率 (防水性向上率) = (ユニットバス化された住戸数) / (全住戸数)	8%	%	13%
2	市内の空き家を調査し、空き家の戸数等、実態を把握する。 空き家候補を既存のデータから調査し、現地調査を行うことにより実際の空き家の戸数・状態などを把握する。 (空き家の実態把握率) = (空き家実態調査戸数) / (空き家候補の戸数)	0%	%	90%
3	市営住宅の外壁改修により、耐久性が向上し、建物の長寿命化を図ることができる。 市営住宅の外壁改修による耐久性向上率 (耐久性向上率) = (20年以内の外壁改修住棟) / (ストック住棟)	79%	%	88%
4	市営住宅の共有部LED化により、建物の安全性の向上を図ることができる。 市営住宅の共有部LED化による安全性向上率 (安全性向上率) = (LED化された住棟) / (ストック住棟)	8%	%	23%
5	市内の不良住宅に対する除却費の補助をすることにより、不良住宅を減らすことができる。 市内の不良住宅の減少による、空き家率の減少 (空き家率の減少) = (不良住宅の除却数) / (不良住宅数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	熱海市	直接	熱海市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅浴室改修事業・外壁改修事業・共有部LED化事業 ・長寿命化計画策定	熱海市						241		策定済	
	A15-002	住宅	一般	熱海市	直接	熱海市	-	-	空き家再生等推進事業	実態調査・不良住宅除却事業	熱海市						34		-	
		市内全域																		
	A15-003	住宅	一般	熱海市	直接	熱海市	-	-	住生活基本計画基礎調査 (地域住宅政策推進事業)	基礎調査	熱海市							19		-
											小計							294		
											合計							294		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

熱海市まちづくり課によって実施。

事後評価の実施時期

令和5年9月

公表の方法

市のホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

指標 公営住宅等ストック総合改善事業の実施により、市営住宅の防水性向上が図れた。  
指標 空き家再生等推進事業の実施により、空き家の実態の把握が図れた。  
指標 公営住宅等ストック総合改善事業の実施により、市営住宅の耐久性向上が図れた。  
指標 公営住宅等ストック総合改善事業の実施により、市営住宅の安全性向上が図れた。  
指標 空き家再生等推進事業の実施により、不良住宅の減少が図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

次期計画である「熱海市における安心で快適な住まいと住環境の向上（地域住宅計画）」（令和3年度～令和7年度）において、引き続き、市営住宅の耐久性等の向上及び不良住宅の減少に向けた取組を推進する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	13%
	最終実績値	9%
市営住宅の防水性向上率を8%から13%に増加させる。 熱海市公営住宅長寿命化計画の見直しや財政事情等により、事業量を再考したため。		
2	最終目標値	90%
	最終実績値	95%
空き家の実態を90%把握する。 3箇年に及ぶ調査の結果、目標以上に実態を把握することができた。		
3	最終目標値	88%
	最終実績値	87%
市営住宅の耐久性向上率を79%から88%に増加させる。 熱海市公営住宅長寿命化計画の見直しや財政事情等により、事業内容を再考したため。		
4	最終目標値	23%
	最終実績値	10%
市営住宅の安全性向上率を8%から23%に増加させる。 熱海市公営住宅長寿命化計画の見直しや財政事情等により、事業量を再考したため。		
5	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
不良住宅を100%除却する。		